

大阪工業大学 應援團 團報



発行所 大阪工業大学 應援團
発行責任者 紺本和彦
編集責任者 目黒裕隆
大阪市旭区大宮5丁目16番1号
TEL (06) 952-3131

團報 第三十八号

特集 韓国研修旅行 学園祭

第三十四代團長挨拶



大阪工業大学 應援團 團長 紺本和彦

淀の堤防に吹く風にもいつしか 冷たさが感じられる季節となり、 学生諸君も日々、勉学に、クラブ 活動にと励まれていることと思い ます。

の間、韓国に於いて研修旅行を行 いました。今回の団報ではその韓 国研修旅行を特集として掲載して います。 五泊六日という限られた日程な がら、現地の大田大学校との交流 をはじめ韓国唯一の残留日本人妻

旅行となりました。それぞれの詳 しい内容は特集に記しますが、そ の一つ一つがとも印象的な出来 事であり、大変貴重な経験でした。 そのなかでも特に日本に於いて失 われつつある若者達の積極性や情 熱を肌で感じ、今後この国がま すます発展していくであろう事を確 信し、この情熱を我々も見習わね ばならないと深く痛感しました。

今回の海外研修合宿は九月三日 より九月八日までの六日間、現役 紺本部長以下十二名、OB十名、 一般参加者二名の総勢二十三名の 参加を以て韓国、大韓民国で行わ れた。

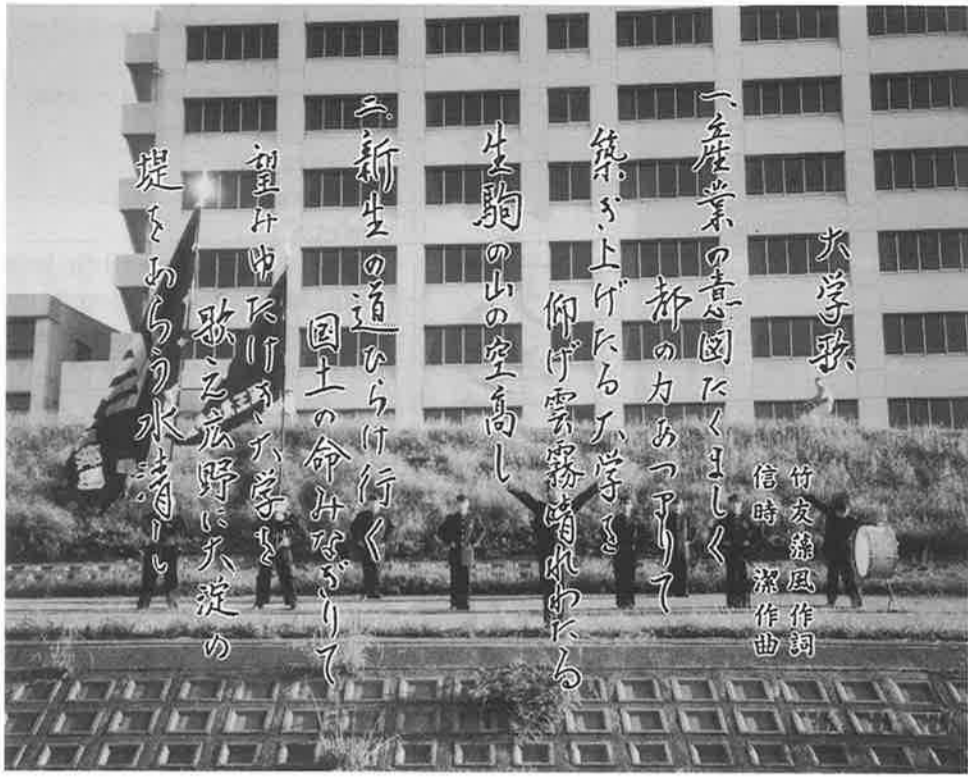
応援團としては、十一年ぶりの四 度目の海外研修になるが、韓国で は初めての事であり、ソウル、大 田、慶州、釜山と、朝鮮半島を西 より東へと横断する順足の旅行で あったが、国立墓地の献花参拝を 皮切りに、板門店見学、大田大学 校との交流、韓国交友会である同 門会の方々と懇親会、ナザレ園 の慰問、民俗村、慶福宮、仏国寺 などの見学を行ない、韓国の歴史、文化に触れ、各団体との交流 を深め、スケジュール通りに幸 行、ますますの成功を納める事が 出来たと感じる。

中でも大田大学校訪問には、工 科大学の先生方のご尽力によりコ ンタクトを取っていただき、当日 は歓迎の横断幕が正面に出されて いるなど、心温まる盛大な歓迎を 受けた。大田大学校は一九九三 年、万国博覧会が行われた大田市 の郊外の丘陵地に設けられた、創 立十五年目の未だ歴史の浅い大学 であるが、五学部二十五学科より 成る学生数九千名余りを擁する総 合大学で、施設も整い、学生に



第四回海外研修合宿に参加して 大阪工業大学 應援團 OB会 会長 塩崎恭介

- 一面 團長・OB会会長挨拶
二面 韓国研修旅行報告
三面 二面続き
四面 学園祭予定、應援團活動報告



大学歌

竹友藤風 作詞 信時 潔 作曲

一、卒業生の意図なく、まじく 静の力あつかりて

築き上げたる、大学を 仰げ雲霧紛れわたる

生駒の山の空高し

二、新生の道はらけ行く 園上の命はなごりて

望むは中飛げ、学も 歌を、広野に天淀の

堤を、あらし水清し

最後になりましたが今回の旅行 御世話になりました韓国の皆様 方、また旅行の計画に際しまして 御協力を賜りました工大法入室並 びに学生課、応援団顧問雄倉先生、 さらに御忙しい中計画から旅行 引率まで御世話戴きました塩崎OB 日会会長を始め、韓国赴任中の吉 永先輩、永田監督、OB諸氏の皆 様にこの場を借りまして深く御礼 申しあげます。

とってその環境は充実した物と思 われた。 我が校、藤田総長と大田大学校 呉総長との間に三年前より交流が 始まり、一昨年より毎年、五、六 名の留学生を我が校が受け入れる など、今後親密な関係が深まるこ とと思われる。我が校よりの留学 生は未だ無いのだが、日本 語日本文学科には日本の大学より 客員教授二名が赴任しておられ、 将来我が校より留学生も受け入れ たいとの事、ますます日本との交 流を深めたいと言われている。

九月六日の訪問の日、本部会館 の応接室に連れられ大学の創立精神、 歴史を盛り込んだスライドを拝見、 記念品の交換をかわした後、呉総 長の歓迎の挨拶を受け、学生との フリートークの交歓会を行なった。 学生会館の広場では、我が応援団 現役団員の演武を披露し、両校の 相互発展を願ってエールを送り再 会を約して大学を後にした。今後 ますます交流が深まる事を望みた い。

九月七日「慶州ナザレ園」を訪 問、日系老人の慰問を行なったが、 回所は一九七二年十月、永住帰国 する日本女性の為、理事長金龍成 氏の御尽力のもと開設され、今で は日本女性専用の老人ホームにな り、韓日社会事業家の協力で民間

募集!! 我々應援團では、 幅広く活動するため 学年を問わず団員を 募集しています。 詳細は、應援團本部員又は、 園室(部室センター4F)迄 大阪工業大学 應援團本部

高級クリーニング 若屋 専門店 大阪市旭区大宮4丁目5の15 (工大前市バス通り・池田銀行横) 電話(951)4624番 花と緑の店 景花園 TEL 953-0313 (自宅) 952-6984

創業80年 高級美術・贈答品・記念品 田中陶器(株) 大阪・千林 951-4247 951-5443

韓国研修旅行報告

9月3日(火)
9月8日(日)



総合図書館前にて記念撮影

大田大学校訪問

我々、大阪工業大学応援団は、9月3日から9月8日までの間、韓国にて研修旅行を執り行った。

- この研修旅行では、
- 一、宗教・思想・国籍等の違う人々との交流
 - 一、現地の歴史・文化の理解
 - 一、団員の結束強化
 - 一、礼儀作法の習得

を目的とした。

韓国では、大田大学校との交流をはじめ、国立墓地での献花、同門会との懇談会、ナザレ園慰問、史跡の見学などを行い、国内での宿泊や単なる海外旅行では経験し得ない貴重な体験をすることができた。

韓国研修旅行日程

- 9/3(火)
・関西国際空港集合、空路ソウル金浦空港へ
・韓国入国後、国立墓地で献花
(ソウル泊)
- 9/4(水)
・板門店見学ツアーに参加
(ソウル泊)
- 9/5(木)
・民俗村見学
・南山タワー見学
・昌徳宮、景福宮見学
・同門会(工大韓国校友会) 崔会長 宋副会長と懇談会
(ソウル泊)
- 9/6(金)
大田市へ移動
・エキスポランド見学
・大田大学校訪問、交流会
慶州へ移動
(慶州泊)
- 9/7(土)
・仏国寺、天馬陵、慶州博物館見学
・慶州ナザレ園慰問
プサンへ移動
(プサン泊)
- 9/8(日)
・プサン金海国際空港から空路関西国際空港へ解散

研修旅行参加者(敬称略)

現役	團長	紺本和彦
	副團長	伊藤仰二
	総務部長	目黒裕隆
	三回生	今井靖之、島田卓弥
	二回生	竹本兼久、山崎 聡
	一回生	安田洋一郎、武田雄一
		早崎貴之、富川知宣
OB会	会長	塩崎恭介
	副会長	立嶋晴樹
	S47年卒	吉永満郎
	総務	橋本健一
	監督	永田昌宏
	コーチ	田中一夫
	S58年卒	広井孝彦
	S60年卒	林堂 猛
	H4年卒	田淵信吾
	同伴	塩崎禎子、永田恵美子

大田大学校は、大田市郊外のなだらかな丘陵地にあり、周囲は豊かな自然に囲まれ、全体的に落ち着いた雰囲気がある。大田大学校を訪れた時、まず目にしたのが横断幕であった。我々の訪問の為に歓迎の準備がされていたかと思うと、大変感激した。

大学案内を案内していただいたのが今回の我々の交流相手でもある学芸学部日本語日本文学の教員と学生の方々である。まず我々は図書館の会議室において教育理念や教育制度、大学の選考を聞いたスライドを視聴した。次に、只應準校長より歓迎の挨拶を受け、それに対し塩崎OB会長が答辞を述べた。それに続き和やかな雰囲気の中で、両校から訪問の記念品の授受が行われた。その後、日本語日本文学の教員、学生の方々と共に大学校内の施設の見学を行った。

大田大学校には博物館が設けられており、古文書、絵、陶器類その他多数の文化的遺産が所蔵されている。体育館は、現在新築中なので授業やクラブ活動などは仮体育館で行われているが、トレーニングマシンなどの機器は最新のものが取り揃えられているので、充実した学生生活を送るには申し分のない環境であるように思えた。

一通り見学を終えた後、我々は中庭のステージ上で演武(三三七拍子、Vの字、ポップ拍子、大学歌)を披露することとなった。演武披露をするにあたり、果たして韓国の学生に我々の演武が受け入れられるのかどうかという不安があったが、演武を一つ終えるごとに大きな拍手が沸き起こり、我々の不安は吹き飛んだ。我々の演武は韓国の学生にも好意を持って受け取られたようであった。演武披露も終わり、最後に図書館前で記念写真を撮り、大田大学校を後にした。

今回の交流で韓国の学生は二年間の兵役があるとはいえ、自由な雰囲気は日本の学生とさほど変わらないように見られた。

大阪工業大学は来年度も大田大学校から数名の交換留学生を受け入れる予定で、今後ますます交流を深めていくことになる。今回の訪問を機会に、より一層学生レベルでの親交を深めてゆきたい。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

大田大学校は一九八一年に設立され、一九八八年に単科大学から総合大学となり、現在は学芸学部、法律経済学部、理学部、工学部、東洋医学部の五学部、二十五の学科があり、大学院は修士・博士課程から成る大学院と経営・一般行政大学院と産業情報学大学院の三大大学院がある。また一三学科に夜間部が設けられており、社会人にも広く門戸を開いている。

また大田大学校では国際交流も盛んに行われており、世界各地の大学と姉妹校提携を結び、教授陣学生の交換留学が行われ、国際大学セミナーなど開催されている。

我々とは一九九四年から提携が結ばれており、現在、工大では五名の大田大学校生を受け入れている。



ソウル三日目の夕食会において同門会会長の崔鶴林先輩と副会長、宋感錫先輩の出席をお願いし、懇談会を行った。同門会は工大卒業生の会であり、韓国籍OB相互の親睦、交流を計っている。

同門会(韓国工大卒業生の会)との懇談会

同門会は、韓国全域に会員を持つが、近年、若い人が少なくなっていることである。しかし、崔先輩、宋先輩とも御高齢ながら、非常に活発とされており、今後の同門会の発展が期待される。

和洋酒・食料品

田中 酒店

大阪市旭区大宮3丁目1番41号
電話06(951)2953番
大宮神社西

木のかおりのコーヒーハウス

TOGETHER

工大東門通り
大阪市旭区中宮5丁目5-18
TEL 06-953-7613
AM 8:00~PM 10:00
日・祝 休業

パチンコ
アレシロ
パチスロ

パーラー大丸

新装開店
大工大生のアイドル
大阪工大正門前通り TEL 952-2854

ナザレ園慰問



ナザレ園は韓国の南部、慶州にある。日本の占領時代に韓国青年と結婚した日本人女性が戦後、韓国に移住したが、朝鮮動乱などで夫を亡くされ、身寄りもなく困窮した日系未亡人の方などに永年船国便宜と、老弱者の生活保護をしている韓国唯一の日系婦人保護施設のことである。一九七二年十月一日、韓国社会事業家の協力で創立され、民間事業として両国憲法家の支援を中心に経営されており、現在約三十名の方々が入所されている。この間に日本への帰国希望者、百四十余人の永年帰国を果たし、帰国意思のない人に対しては生活保護を行なっている。また、韓国内には、日系婦人が約八百人住んでおり、その中で百世帯世帯定住し、毎月居宅援助金を送金して助まっている。日系婦人の平均年齢は既に七十歳を越えており、より一層の生活保護を必要とする人たちが多くなっている。

御老人方と活きている一番驚いたことは、その力強さである。皆さん年齢よりもとても若く見え、日本語も達者で、我々の方が圧倒される程であった。和やかな雰囲気の中で誰と誰となく唱歌を歌い始めた。歌っている姿は生き生きとして、日本にいた時の事を思い出しながら、歌っておられるように感じた。

御老人方は別れ際にナザレの歌を歌われた。この歌は入所者の一人が作詞、作曲したものであるとのこと。心にしみ、日本に帰りたいという思いがひしひしと伝わってくるようであった。

今回の訪問で、このような所にも戦争の傷跡が残っているという事を改めて知らされた。そして、その渦中にいた婦人達のこれまでの苦勞を考えると、これからの園での生活をせめて少しでもお元気で、幸せな日々を送っていただきたいと思う。また、十数年前に渡り、無報酬で園の為に尽くされている宋美虎園長先生をはじめ、関係者の方々の努力には頭が下がっている。日本人として改めて、この場を借りて御礼を申し上げたい。

今後我々は今回の経験を生かし、同園に対し援助の一助となるような活動を考えてゆきたい。

韓国に着いてバスに乗り、ソウル市街に入った辺りから軍事車両が道路を走っているのが多く目に付く。朝鮮戦争の戦死者が埋葬されている国立墓地はそんな市街の中に広大な敷地を構えている。入口には数人の軍人が銃を構えて警備にあたっており、その他にも多数の兵士が駐屯しているようだった。それを見た時、日本とは明らかに違う何かを感じた。

敷地内に入ると外界とは空気さえも遮断されているかの様に静寂に包まれ、外の道路を走る車の音だけが遠くに聞こえていた。その様な荘厳な雰囲気の中に巨大な兵士像がいくつも建てられており、日本では日常感じることのない戦争の一部に触れた様な気がした。

国立墓地を訪れて



この墓地に埋葬された遺骨の多くは今だに身元不明のままになっている。そのことが朝鮮戦争が激烈と混迷を極めたことを如実に物語っている様だった。人々の魂がこの静かで美しい墓地で安らかに眠れるように祈りを捧げた。

国立墓地を訪れて一番に感じた事は我々も含めて日本人の戦争に対する認識の甘さと関心の薄さである。日本が『平和ボケ』と酷評される昨今、隣国である韓国が今も北朝鮮との間に戦争の危機感を抱いているという現実を知り、平和であるということさえ意識することのない日本に暮らすことがどれだけ幸福なのかを改めて実感させられた。

板門店



板門店とは、ソウルから北へ六十キロメートル、車で約一時間ほどにあり、朝鮮半島を北緯三十八度線と南緯に分割する軍事境界線(休戦ライン)上にある小さな村のことである。朝鮮戦争で休戦協定調印の舞台となった場所であり、軍事境界線を中心に南北にそれぞれ二キロにわたって非武装地帯になつており、一般人の立ち入りが厳しく制限されている。従って、この地帯に入るには服装、一切の行動、写真撮影など、様々な制限を受けることになり、板門店に入る前からビビリとした緊張感が伝わってくる。

林が統制していたかと思うと、急に目の前に建物が現れ、いよいよ軍事境界線の最前線にある板門店に到着した。バスから下りるとそこは思っていたよりも、物静かなところであった。バスの前には北の監視台である板門閣と向き合うようにして韓国側の自由の家があり、その展望台からは、軍事停戦委員会本会議場はもとより、北の平和の村までも見ることができた。展望台見学のあと、軍事停戦委員会本会議場に入った。この中にあるテーブルの真ん中が軍事境界線で、テーブルを挟み南北の代表が話し合う形式をとっている。唯一この建物の中だけでは軍事境界線を越えて北側に入ることができ、我々がこの中に入っている間は特別に厳重な監視が行なわれ、北側の兵士も会議場の周辺を警戒するように近づいてきた。北側の兵士と目が合うと、とても緊張し、本当に最前線に来たのだということを実感させられた。この後、北側が一望できる訪問者用の展望台に移った。この日は晴れ、かなり広範囲にわたって北側を見ることのできた。ここから帰らざる橋(朝鮮戦争で捕虜交換の舞台となつた橋、ポブラ事件(一九七六年に米軍兵士が殺された事件)の発端となつたポブラの木)の跡も見ることができた。

本会議場で見た北側の兵士と、韓国の人の顔が同じであった。戦争は朝鮮半島の分断だけでなく、民族の分裂、更には人の仲をも引き裂きさせた。この地球から、争いがなくなることを、そして、いつの日か韓国と北朝鮮が一つの国になることを願わずにはいられなかった。

研修旅行で感じたこと

一回生 富川 知宣

今回、自分は初めての海外旅行ということもあり、現地の人々が我々日本人を受け入れてくれるのだろうか、と少し心配でした。しかし、実際に行ってみると、今までの不安がまるで嘘のように感じられ、とても充実した旅行となりました。

昌徳宮や景福宮を見ていると、表面的な違いはあれども、やはり日本と通じるものがあり、親近感を覚えました。

また、板門店に於いては、さらさら映画のシーンのように、軍服に身をまつた米兵と韓国の軍人が、黒く重たいマシンガンを持って、警戒にあたっている姿を見た。戦争を知らない自分にとって、この光景は異様であり、改めて平和の大切さを認識することができました。

見るもの全てが新鮮に受け取られる海外旅行は、言語、宗教、思想の違う人々と直にふれ合う良い機会であり、学生時代にこのような経験ができたことは、自分にとって大変、価値のあるものだと思います。

研修旅行を通して

副團長 伊藤 仰二

韓国に行くこと決まると、同時に韓国では、まだまだ反日感情が強いと聞きました。自分は、わざわざ風当たりが強い韓国に行く必要はないか、という思いがあり、韓国に行くこと事態、あまり乗り気ではありませんでした。

しかし、実際に韓国に渡ってみると、自分たちに非常によくしていただき、歓迎していただき、日本にとっては、良きライバルという印象を受けました。慶州ナザレ園で、「韓国は日本によって、様々な被害を受け、傷を負った。だからこそ、日本人に優しくするのだ。」という理事長、金氏の考え方には、ひどく感動しました。何とすばらしい人達なんだと、この思いやりを他の日本人にも広く知ってほしいと思います。

今回の旅行でお世話になった多数の方々、この場を御借りして御礼申し上げます。

これからの、日本と韓国は協力していかなければならない関係であり、また、そうするためには、もっと韓国を知り、韓国の若い世代と交流を深める必要があるように感じました。またこの旅行には多数の先生方に御同伴いただき、その中で礼儀作法の基本から、応援団としての心構えまで御指導を受けましたが、そのことは自分にとって貴重な糧となりました。そういう意味でも今回の研修旅行は大いに役に立ったと思いますし、これからの、合宿とも、旅行とも違う人生の勉強ができたと思います。

いつもトレンドィーで人気者
カット サロン

五 幣

大宮 3-2-15

TEL 951-0209

値も安く栄養たっぷり華竹味

華 竹

大阪市旭区中宮5丁目6-12

2分間証明写真

野口フォトサービス

千林大宮商店街 天竜パチンコ前
TEL 951-1878

日替り「おめん定食」

お好み焼他

おめん

(小宴会に持ってこいの店)

営業時間：午後6時～午前2時迄

中宮4丁目 高速道路下
TEL 954-6477

1996 工大学園祭始動!

11月1日(金)
11月4日(祝)

第三十二回総合演武祭開催!

来る十一月二日(土)には、応援団と各武道系クラブによる第三十二回総合演武祭が執り行われる。この総合演武祭は我が応援団、体育会本部、II部クラブサークル本部の三団体が共催し、応援団をはじめ、各武道系クラブが日頃の稽古の成果を披露する場である。演武とは、日夜、各クラブが厳しい稽古に耐え、精神を鍛え上げ技一つ一つを体に入念に込め、初めて完成するものである。この演武祭をご覧により、日頃の各武道系クラブへの御理解を深めて戴きたい。



◎DJ、ヒロ寺平講演会

ご存知、超大物DJのヒロ寺平氏が、この工大にやってくる。寺平氏はFM802を始め、読売テレビの「WESTER 20」などのレギュラー番組を持ち、幅広くDJ活動を行っている。この講演会は入場無料となっている。ファンキーDJの愉快なトークを十分に楽しんで戴きたい。

日時 十一月四日(月)
12:00~13:30
場所 三号館三四三教室

◎奥井雅美ライブショー!

アニメの歌姫奥井雅美が工大にやってくる。ここで彼女について少し紹介しておこう。斉藤由貴のコンサートツアーにクラスとして抜擢されプロ活動を開始、松任谷由実等のコンサートにも参加、現在はシングルリリースを機に、アニメイメージソングを多数手掛け、耳慣れた工大学生もいるだろう。

日時 十一月二日(土)
18:30~
場所 大阪工大60周年記念講堂

◎Meiody & 寺尾友美コンサート!

合同コンサートとなるMeiodyは「長野オリンピック」のCMソングを始め、テレビ、CMなどで活躍中の女子三人組、新曲「Meiody」をリリース、今後の飛躍が期待されている。寺尾友美は、テレビ、ラジオの他にも、ミュージカル「ピーターパン」にウェンディー役として出演、雑誌のグラビアにも多数登場している美形アイドル。彼女達を見たい人はコンサート会場に集合!

日時 十一月三日(日)
16:00~17:00
場所 大阪工大60周年記念講堂

ぜひ行ってみたいのを知りたい

今年も、学祭終了後の恒例行事、ぱあていたいむが開催される。当日は、東中庭ステージで行われる工大の軽音楽部のファンキーなライブの中、踊って歌って最後の夜を最高にはじめよう!
詳しい事は、応援団団室まで。

パーティーチケット料金

- ドリンクA チケット前売 三〇〇円
- 当日 三五〇円
- ドリンクB チケット前売 三〇〇円
- 当日 三五〇円

第48回 学園祭日程表

日付	場所	時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
10/31(木)	東中庭ステージ															
	その他															
11/1(金)	東中庭ステージ					開会式	○×風船ドン	お笑いマンガ道場	モノまね	イントロカラオケ						
	その他					ソフトボール大会 (淀川河川敷グラウンド)										
11/2(土)	東中庭ステージ					ビゴ大会	演武祭				朝鮮文部 朝化演奏	II部軽音 ダンスパーティー				
	その他					お子様企画 ツクってカナで〜 (6号館1階)					奥井雅美 コンサート (記念館)					
11/3(日)	東中庭ステージ				腕相撲大会 前半	ビゴ大会	腕相撲大会 後半	三輪車レース	I部軽音 ダンスパーティー							
	その他				素人日拳大会 (第三練習場)			メロディ&寺尾友美 コンサート(記念館)								
11/4(祝)	東中庭ステージ				3on3 (雨天時体育館)	ビゴ大会	キャンパスフェスティバル 〜ゲームDEバトル〜			閉会式	ぱあていたいむ					
	その他				駅伝大会 (淀川堤防)		ヒロ寺平講演会									

大阪工業大学 応援団活動報告 平成八年度(十月十四日現在)

- 四月六日 入学式参加(於:総合体育館前)
- 五月二十六日 柔道部 関西学生柔道体重別選手権大会第十五回 観戦 (於:近畿大学記念会館)
- 五月三十一日 二回戦敗退(個人戦)
- 五月三十一日 上方落語研究部 第四十六回太閤寄席鑑賞 (於:コスモ証券ホール)
- 六月一日 大阪府立大学応援団演武鑑賞 (於:農学部前ステージ)
- 六月二日 アイスホッケー部 なんばカップ応援 (於:大阪球場スケートリンク)
- 六月二日 対大阪大 二対四で工大惜敗
- 六月十二日 アイスホッケー部 なんばカップ応援 (於:大阪球場スケートリンク)
- 六月二十日 対大阪府立大 一対四で敗退
- 六月二十日 茶道部 新人茶会参加(於:茶道部茶室)
- 六月二十四日 クラシックギター部 独重奏会(於:六十周年記念館)
- 六月三十日 ウィンドアンサンブル部
- 四月六日 SUMMER CONCERT鑑賞 (於:六十周年記念館)
- 九月十一日 硬式野球部 秋季近畿学生野球I部リーグ戦観戦 (於:日生球場)
- 九月十八日 対奈良産業大 一対二で工大惜敗
- 九月十八日 硬式野球部 秋季近畿学生野球I部リーグ戦観戦 (於:日生球場)
- 九月二十一日 対大阪教育大 二対七で工大大敗
- 九月二十九日 硬式野球部 秋季近畿学生野球I部リーグ戦観戦 (於:江坂びじろホール)
- 十月七日 茶道部 月見茶会参加(於:茶道部茶室)
- 十月八日 各音楽系クラブ鑑賞
- 十月十三日 ラグビー部 関西学生ラグビーCリーグ戦応援 (於:工大グラウンド)
- 対神戸学院大 三十二対十三で工大快勝

